

教科名	国語	科目名	国語総合(現代文)	学年	1	授業形態	必修
使用教科書・補助教材				単位数	2	授業時数	78
『精選国語総合・現代文編』(筑摩書房) 『カラー版新国語便覧』(第一学習社) 『ちくま評論入門』『大学入試漢字TOP2000』(いいずな書店)							
学習目標	近代以降の様々な文章を読む能力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで表現することによって、人生を豊かにする態度を育てる。						
授業内容の概要	学習単元		学習事項・学習方法・留意事項・具体的な指導目標等				
	一	評論一 結ばれていく時間(内山節)  デジタル社会(黒崎政男)  小説一 羅生門(芥川龍之介)  評論五 失われた両腕(清岡卓行)	評論の文章になれる 論理的な思考方法を学ぶ 象徴的な表現とその読解を学ばせる。  登場人物の心理をとらえる小説の読み方を学ぶ 優れた描写、効果的な表現を学ぶ  文章の論理構成を理解する 言語の働きを学ぶ				
	二	評論二 魔術化する科学技術 (若林幹夫)  評論六 マルジャーナの智恵 (岩井克人)  小説二 待ち伏せ(ティム・オブライエン)	抽象的な言葉を具体例や文脈を押さえて理解させる。 論の構造を理解させる。  情報化社会について理解を深める。  小説の語りの構造を理解させる。				
	三	評論六 環境と身体(河野哲也)  評論五 主体という物語 (小坂井敏晶)	例示を巧みに用い結論へと導く論の展開を学ばせる。  自己の感覚を論理へと練り上げる過程を学ばせる。 文章の論理構造に即した思考のあり方を理解させる。				
評価の観点と方法	定期テスト、小テスト(漢字)、提出物等により総合的に評価する。						

教科名	国語	科目名	国語総合(古典)	学 年	1	授 業 形 態	必修	
使用教科書・補助教材				単位数	3	授 業 時 数	117	
『精選国語総合・古典編』(筑摩書房) 『カラー版新国語便覧』(第一学習社) 『完全マスター古典文法』(第一学習社) 『必携新明説漢文』(尚文出版) 『古文単語315』(桐原書店)								
学 習 目 標	国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨く。							
授 業 内 容 の 概 要	学 習 単 元		学習事項・学習方法・留意事項・具体的な指導目標等					
	一 学 期	古文入門 説話・物語 宇治拾遺物語 竹取物語 漢文入門 故事 借虎威 朝三暮四 物語 伊勢物語	基本的な文法事項(歴史的仮名遣い・用言の活用)を修得する。 古文を学ぶ意義を確認し、古文に親しむ態度を養う。 漢文を学ぶ意義を確認し、漢文に親しむ態度を養う。 漢文の文体に慣れ、内容を理解する力を養う。 登場人物の心理・言動を捉え、登場人物のものの見方・考え方を理解する					
	二 学 期	日記 土佐日記 随筆 徒然草 和歌 万葉集 古今和歌集 新古今和歌集 (百人一首) 文章 塞翁馬 うつろひたる菊 唐詩 思想 論語	古文の文体や表現に慣れ、内容を理解する力を養う。 和歌について理解と関心を深め、鑑賞する力を養う。 和歌の表現を通して、古典の面白さを味わう 論理的な漢文の文章の論旨や、考察の展開の過程を的確に把握し、それをもとに自身の考えを深める力を養う。 唐詩の表現に慣れ、唐詩を味わう力を養う。 中国の思想の日本文化に与えた影響を理解する。					
	三 学 期	物語 竹取物語 十訓抄 史伝 死諸葛走生仲達 文章 雑説	古文の敬語について理解を深め、読解に役立てる。 古文の表現について理解と関心を深め、内容を理解する力を養う。 論理的な漢文の文章の論旨や、考察の展開の過程を的確に把握し、それをもとに自身の考えを深める力を養う。					
	評 価 の 観 点 と 方 法		定期テスト、小テスト(単語)、提出物等により総合的に評価する。					

教科名		国語	科目名	現代文B	学年	2	授業形態	必修
使用教科書・使用教材					単位数	2	授業時数	78
『精選 現代文B』筑摩書房 『ちくま評論入門』『ちくま小説入門』 『ちくま評論選』筑摩書房 『現代文基礎読解ドリル』駿台文庫 『新国語便覧』第一学習社								
学習目標		近代以降の様々な文章を読む力を高めることにより、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らも進んで表現する力を育成する。						
授業内容の概要	学期	単元名・学習内容			学習方法・留意事項・具体的な学習目標等			
	一	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評論 「ラップトップ抱えた『石器人』」 「身体、この遠きもの」</li> <li>・小説 「山月記」</li> <li>・評論 「科学・技術と生活空間」</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者のものの見方、考え方、感じ方を読み取る力をつける。</li> <li>・論理的な文章を読むことにより、論理の展開や要旨を的確にとらえる。</li> <li>・小説において、人物、情景、心情などを的確にとらえ優れた表現を味わう。</li> </ul>			
	二	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小説 「こころ」</li> <li>・評論 「異時代人の目」 「つながりと秩序」 「ファンタジワールドの誕生」</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・小説の鑑賞力を養うとともに、人の心についての考察を深める。</li> <li>・具体から抽象へ論の展開、その飛躍の仕方を理解し、事実をそのまま受け入れるのではなく、そこに隠された意味を探り日常を異化する考え方を学ぶ。</li> <li>・論理的な文章をその論理展開を把握するだけでなく、そこにこめられた筆者の物の見方・考え方を学び、人間や社会について考えを深める。</li> </ul>			
	三	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小説「舞姫」</li> <li>・評論 「『である』ことと『する』こと」</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・本格的な文学作品を読むことを通して、作品の成り立ちを含めた立体的な読みを構築する方法を学ぶとともに読書に親しみ、人生についての考えを深め、生涯にわたって国語に関わる態度を養う。</li> <li>・論理的な文章をその論理展開を把握するだけでなく、そこにこめられた筆者の物の見方・考え方を学び、人間や社会について考えを深める。</li> </ul>			
評価の観点と方法		定期テスト、小テスト、提出物等により総合的に評価する。						

教科名	国語	科目名	古典B	学年	2	授業形態	必修
使用教科書・使用教材				単位数	3	授業時数	117
『古典B』（第一学習社）『完全マスター古典文法』（第一学習社）『古文単語330』（いわずな書店）、『新明説漢文』（尚文出版）『進研WINSTEP古典2』（ラーンズ）『新訂総合国語便覧』（第一学習社）『解釈力の超トレーニング』（尚文出版）							
学習目標	古典を適切に現代語訳できる能力を育成し、作品に書かれている作者の心情を読み取り、日本の古典の世界を理解する。						
授業内容の概要	学期	単元名・学習内容		学習方法・留意事項・具体的な学習目標等			
	一学期	日記（更級日記） 門出 源氏の五十余巻 故事 呉越同舟 推敲 随筆（枕草子） 雪のいと高う降りたるを 二月つごもりごろに 物語（平家物語） 能登殿の最期 志怪と伝奇（幽明録） 新死鬼 漢詩（唐詩） 秋風引 江村		古文 ・古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解する。 ・古語や敬語に留意して、登場人物の心理・言動を読み取り、古代人の物の考え方・見方を理解する。 ・和歌の修辭を理解し、文章中における和歌の役割や、当意即妙や、和漢の教養をふまえたやりとりの面白さを理解し、古文への興味・関心を喚起する 漢文 ・句法や用字に留意しながら、音読を取り入れて読解し、理解を深める。 ・故事成語の由来を正しく理解する。 ・漢詩の規則を正しく理解する。			
	二学期	物語（大鏡） 花山天皇の出家 道長と伊周 随筆（徒然草） 久しく隔たりて会ひた 史話（史記） 鴻門の会 日記（蜻蛉日記） うつろひたる菊 評論 （俊頼髓脳）（無名抄） 深草の里 歌のよしあし		古文 ・敬語に留意しながら、人物関係を読み取る。 ・既習の文法事項や単語の知識を用いて、自分で読解できるように努める。 ・内容や表現の特色を理解し、作品の価値についても考察する。 漢文 ・紀伝体歴史叙述の構成原理と、戯曲的構造を把握する。 ・人物の言動を読み取り、史記の世界について理解を深め、歴史的背景についても学ぶ。			
	三学期	物語（源氏物語） 光る君誕生 若紫 思想（道家）（法家） 混沌（莊子） 侵官之害（韓非子）		古文 ・敬語に留意しながら、人物関係を読み取る。 ・古文常識を理解し、当時の人々の心理や言動について理解し古文の奥深さを味わう。 ・内容や表現の特色を理解し、作品の価値についても考察する。 漢文 ・中国の思想に理解を深めるとともに我が国の歴史や文化との関わりについても学ぶ。			
評価の観点と方法	定期テスト、小テスト、提出物等により総合的に評価する。						

教科名	国語	科目名	現代文B	学年	3	授業形態	必修
使用教科書・補助教材				単位数	2	授業時数	78
『精選 現代文B』筑摩書房 『ちくま評論選』筑摩書房 『新国語便覧』第一学習社 『大学入試国語頻出問題1200』いっずな書店							
				近代以降の様々な文章を読む能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで表現することによって、人生を豊かにする態度を育てる。			
授業内容の概要	学習単元		学習事項・学習方法・留意事項・具体的な指導目標等				
	一学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学入試評論の入門</li> <li>大学入試問題の実践</li> <li>部分・文脈</li> <li>対比の関係</li> <li>同義関係</li> <li>因果関係</li> <li>構成・趣旨</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>評論の用語を理解する。</li> <li>評論の文の構造展開を理解する。指示語、接続語、段落分け、要約。</li> <li>部分・文脈をつかむ</li> <li>対比の関係をつかむ</li> <li>同義関係をつかむ</li> <li>因果関係をつかむ</li> <li>構成・趣旨をつかむ</li> <li>選択肢問題の解法の基本を学ぶ</li> <li>記述問の書き方の基本を学ぶ。</li> </ul>				
	二学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学入試問題の実践</li> <li>センター試験問題</li> <li>私大選択問題</li> <li>私大記述問題</li> <li>国公立二次問題</li> <li>うつろひたる菊</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>評論の取り上げるテーマについて思索を深める</li> <li>現代社会と技術との関連に理解を深める。</li> <li>文化の面での国際化とはどのようなことか、考えを深める。</li> <li>自明と思われる社会の現実のなかに、法則を見いだしていく社会科学の方法に理解を深める。</li> <li>設問形式別の対策</li> <li>センター試験問題</li> <li>私大試験問題</li> <li>国公立記述問題</li> </ul>				
	三学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学入試問題の実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>設問形式別の対策</li> <li>センター試験問題</li> <li>私大試験問題</li> <li>国公立記述問題</li> </ul>				
評価の観点と方法		定期考査・提出物・出席状況等により総合的に評価する。					

教科名	国語	科目名	文系古典B	学 年	3	授 業 形 態	選択
使用教科書・補助教材				単位数	4	授 業 時 数	156
『古典B』第一学習社 『プログレス古典総演習発展編』いいずな書店 『新版 完全マスター古典文法』第一学習社 『新明説漢文』尚文出版 『大学入試国語頻出問題1200』いいずな書店							
学 習 目 標	広く古典の世界に触れることにより、日本文化や中国文化についての知識、考察を深め国公立大学の入試問題にも対応できるように問題演習を行う。						
授 業 内 容 の 概 要	学 習 単 元		学 習 事 項 ・ 学 習 方 法 ・ 留 意 事 項 ・ 具 体 的 な 指 導 目 標 等				
	一 学 期	・ 古文 入試問題演習  ・ 漢文 入試問題演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本語彙の習得</li> <li>・ 用言、助動詞、助詞の確認。</li> <li>・ 敬語法の確認。</li> <li>・ その他の文法事項の確認。</li> <li>・ 文学史の確認</li> <li>・ 主語の把握の修得。</li> <li>・ 内容趣旨把握の練習。</li> <li>・ 漢文基本の確認</li> <li>・ 基本句形の習得</li> <li>・ 基本用語の習得</li> </ul>				
	二 学 期	・ 古文 入試問題演習  ・ 漢文 入試問題演習  うつろひたる菊	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 問題演習を通して文法・単語・句法の確認と完成。</li> <li>・ 和歌の修辞法・文脈のとらえ方の完成。</li> <li>・ 長文の速読多読。</li> <li>・ センター入試過去問演習。</li> <li>・ 国公立入試問題演習。</li> <li>・ 私大入試問題演習。</li> </ul>				
	三 学 期	・ 入試問題練習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ さまざまな入試問題過去問演習により実践力をつける。</li> </ul>				
評 価 の 観 点 と 方 法	学習活動の目標に基づき、小テスト・定期考査・提出物などの結果や内容、授業態度などを考慮して、総合的に評価する。						

教科名	国語	科目名	理系古典B	学年	3	授業形態	選択
使用教科書・使用教材				単位数	2	授業時数	78
『重要問題集 古典』 ラーンズ 『必携 明説漢文』 尚文出版 『完全マスター古典文法』 第一学習社 『カラー版 新国語便覧』 第一学習社							
学習目標		古文・漢文の基礎知識を定着させ、読解力の向上を図り、共通テスト程度の文章が正しく理解できるようになる。また、広く古典の世界に触れることにより、日本文化の特質や中国の文化との関連についての理解を深める。					
授業内容の概要	学期	単元名・学習内容		学習方法・留意事項・具体的な学習目標等			
	一学期	古文 説話 物語  助動詞・敬語  漢文 再読文字などの句法の復習 思想 物語		古文 ・文学史の基礎知識をもつ。 ・助動詞や敬語等文法事項の復習。 ・基本語句の定着をはかる。 →読解のための基礎力を充実させる。 漢文 ・基本句法を復習し、読解で使うことよって定着をはかる。  ・文学史の基礎知識をもつ。			
	二学期	古文 日記 物語  漢文 詩話 漢詩 李白 杜甫  うつろひたる菊  共通テスト・センター試験の過去問題を教材化する		古文 ・文学史的知識を深める ・文法事項を読解に役立てられるようになる。 ・語彙を増やす。 →作品の特徴を知り、そのテーマを読み取ることで、日本文化の特徴について考察する。 漢文 ・学習した句法を読解に役立てる。 ・文学史の知識を深める。 →読解力を充実させ、作品の特徴、テーマを読み取ることで、中国の文化と日本文化との関連についても考察する。  初読の文章を読み解く力をつける。			
	三学期	・共通テスト・センター試験の過去問題を解く					
評価の観点と方法		<ul style="list-style-type: none"> <li>・初読の文章でも読み解く力を充実させ、センター試験・共通テストレベルの問題を解けるようになったか。</li> <li>・学習活動の目標に基づき、小テスト・定期考査・提出物などの結果や内容、授業態度などを考慮して、総合的に評価する。</li> </ul>					